

# 文教厚生常任委員長報告

文教厚生常任委員会に付託されました案件の主なものについて報告します。

委員長 古澤 國義

議案第58号「平成29年度阿蘇市一般会計補正予算について」

## 教育課所管分

委員より「いじめ防

止対策審議会委員の選任については、専門的な方をお願いをしているのか。」という質疑があり、**教育長**より「審議会を立ち上げるには専門家が必要だということ、臨床心理士と精神保健福祉士の方は協会から推薦をいただき、県からの推薦で弁護士の方、そして、いじめ問題で委員になっていた大学の先生。この大学の先生は、熊本市のいじめ問題で委員

長として答申を出された方です。これまで経験のある方々4名に委員としてお願いをしたところですよ。」という答弁がありました。

また、別の委員から「全国的にみて9月1日に夏休みが終わり自殺が一番多い時期、これは統計的に出てくるが、いじめ問題も含め、夏休みが終わってからは、教育課の中で何か各学校に対し通達や、協議はされたのか。」という質疑があり、**教育長**より「今朝新聞にも高校生や中学生が自殺をした記事が載っています。8月終わりの校長会において、9月1日の問題は以前か

を常に把握はしているところですよ。」という答弁がありました。

## 市民課所管分

委員より、「阿蘇市

ではマイナンバーカードの普及は、どの程度進んでいるのか。またシステム改修とはどのような内容なのか。」との質疑があり、**課長**から「マイナンバーカードの交付枚数は、累計で2,259枚の発行です。また、システム改修費では、現在住民票やマイナンバーには姓と名前が表記されますが、婚姻され旧姓のままでは社会活動がされ、職場で旧姓のまま通している方がいることから、住民票やマイナンバーカードに旧姓が括弧書きで表記されるよう、システムを改修するものです。旧姓を併記することは本人が希望された場合の

みとなります。」との答弁がありました。

## 福祉課所管分

委員より「出会い応援事業は毎年行っているのだが、過去の実績などは。」という質疑があり、**課長**より「社会福祉協議会が22年度から始めており、総参加数は539名、カップル数が39組、そのうち結婚された方が6組

という実績になっております。」との説明がありました。また委員より「結婚する人たちが少ないということは少子化や、過疎化にもつながるため、もっと事業を拡大するなど頑張っていたらいい。」との意見がありました。

このような審議を経た結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

ASO出会い応援事業第18回交流会

## 阿蘇 de 婚活

大自然の中で、婚活しませんか？

本格ピザ作りをしながら、素敵な出会いをしてみよう！  
少人数でのイベントなので、親密度アップも♡



美味のある方は是非、問い合わせ先まで！

【開催日】平成29年6月10日 土曜日  
【時間】午前10時～午後4時30分(予定)  
【場所】阿蘇青少年交流の家  
〒869-2692 熊本県阿蘇市の宮町宮地 6029-1  
【内容】ピザ、パン作り・レクレーション  
【参加費】男性2,500円 女性2,000円  
【対象者】男性：阿蘇市内在住の30歳～45歳の独身者  
女性：九州圏内在住の30歳～45歳の独身者  
【募集人数】男女各15名程度  
【持ち物】体育館シューズ・動きやすい服装  
婚活に対する前向きな気持ち  
【注意点】募集人数に達した場合、以降キャンセル待ちで受付いたします。

【お問い合わせ・申し込み】  
社会福祉法人 阿蘇市社会福祉協議会 担当：家人  
〒869-2301 熊本県阿蘇市内牧 976 番地 2  
TEL：0967-32-1127 メール：a-mir@aso.ne.jp

本年開催された婚活事業パンフレット

議案第60号「平成29年度阿蘇市国民健康保険事業特別会計補正予算について」

委員より「国民健康保険事業は平成30年から運営は県のほうで行うが、新聞報道では約34%の自治体が赤字になるのではとの見通しが出ていたようだが、阿蘇市としてはどう感じているのか。」という質疑があり、課長から「平成30年度から運営主体が県に移行しますが、保険税については、それぞれの自治体で定めることとなります。これについては、県が標準保険税を設定し示すこととなりますが、最終的には国が計算上の係数などを12月で示し、県が取りまとめを行い、阿蘇市に対しては1月に提示されることとなります。」

ただ、阿蘇市の場合、単年度収支がマイナスで来ており広域化の以前に不足しているため、標準保険税率が設定されたときに、その分は確実に不足すると思います。一応試算については、段階を追って示されておりますが、まだ流動的であるため確定してからお示ししたいと思います。」との答弁がありました。

このような審議を経た結果、議案第60号は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

議案第66号「平成29年度阿蘇市病院事業会計補正予算について」

委員より「歯科口腔外科開設に伴う設計委託料の530万円、工事費ほどの程度を見込んでいいのか。また、



口腔外科 高宗康隆医師

口腔外科が阿蘇にはないため歯科医師会等から阿蘇市に対しての要望があり、前向きなのはいいが、財政的に阿蘇市に負担が相当かかってくる可能性もあるかもしれない。そのあたりの捉え方は。」という質疑があり、事務局長から「概算で設備まで含め約5,000万円近くかかるのではないかと伺っております。どこに設置したらいいか、患者様の利便性を考慮し、複数案を依頼しようと思えます。また、歯科口腔外科の開設は、事業管理者である甲斐院長の判断ですが、その判断に至った経緯は、病院として、歯科医師とも病診連携を行っており、必要性として高齢者の患者様が口腔がん等の疑いのある場合、熊本市内の専門医まで行かなければならない現状と、血液サラサラの、抗凝固剤服用の方が多くなり、抜歯なども簡単にできない状況にあります。歯科医師会の強い要望を考慮されたと思えます。院内の幹部会等でも十分検討を行

い、採算性も重要なことだと考えています。地元市民が安心安全な医療に関して生活を送っていく中で、公立病院として補うべきではないかと思っております。」との答弁がありました。また別の委員より「医師の確保はできるのか、どのように考えているのか。」という質疑があり、事務局長より「波野診療所に勤務する歯科医師を予定しており、波野診療所の歯科と診療日を振り分けて対応することになると思えます。現在、毎週木曜日に口腔外科相談窓口に来ていただいております。」という答弁がありました。

委員より「廃校の跡地利用では、有効に進めていくと記載されているが、現在、廃校となった学校がかなりあるが、今後の利用についてはどのように考えているのか。」という質疑があり、課長より「学校の跡地利用については、市役所の関係課において民間活用も含めた跡地利用の検討委員会を定期的開催しています。現在、旧坂梨小学校については、京都大学が利用、古城小学校については、子どもサポートセンターとしての利用、中通小学校については、不登校対応として適用指導教室に利用しております。乙姫小学

認定第1号「平成28年度阿蘇市一般会計歳入歳出決算の認定について」

教育課所管分

校については、老人ホームとして現在建設が行われています。今後跡地利用については、関係課と協議を行っていきたいと思っております。」との答弁がありました。

### 市民課所管分

委員より、「区に入っていない市民、アパートなどに住居されて住民票を移していない人たちなどのごみの管理、収集について市としてどのように取り組んでいるのか。」という質疑があり、課長から「新しくアパート等を建設する場合は、安全に塵芥車が駐車できるスペースを確保して、敷地内に集積のボックスを設けていただくようにしております。転入され手続きに來られた方々には、ごみ分別のやり方、阿蘇市はRDF処理のため

分別し出していただくために、3種類の袋を配り、集積場所の確認もされるよう周知を行っております。ただ、住民票を動かしていない方は接触する機会がなく、管理する地元の各区長も大変苦慮されていることも十分認識しております。今後も広報などでごみの出し方については、ルール

### ほけん課所管分

委員より「特定健診の異常者割合が、82%とあり、また、乳幼児の健診受診率では0.5%が受診をされてい

ないが、その後の追跡は行ったのか。」という質疑があり、係長から「特定健診の異常者割合の82%というのは、特に保健指導領域と比べて、全く正常の方を除いた、少し異常値が高い方から重症化の方まで含めて82%となります。この数値は

発生しており、内28名が0歳児、3名が1歳児という状況でした。29年度では1歳ずつ年齢が上がるため、それだけ保育士の必要数が減ってきますので、年度当初での待機児童は発生していない状況です。」との説明がありました。

なく、全職員で考え病院全体として取り組んでおります。病院として適切な治療を行ない、適切な報酬をいただく、取り漏れ防止の徹底や、職員が各種資格を取得することにより新たな加算が取れるようになってきました。また、医事課を中心に厚生局への届出などを行うことにより一定額しか取れなかったものが、より多くの報酬が取れるような増収対策の取り組みも行っていきます。今後とも収益確保、経費削減対策に積極的に取り組みます。」との答弁がありました。

### 認定第13号「平成28年度阿蘇市病院事業会計決算の認定について」

委員より「収益面で地震によりある程度よくなった時期もあったが、病院経営の中で今後の見通しとしてどのように考えているのか。」という質疑があり、事務局長から「経営については一部の職員だけが考えるのでは

このような審議を経た結果、本案は原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。

委員より「保育所の待機児童で、昨年は1人もいなかったのか。」という質疑があり、係長より「平成28年度末は、31名の待機児童が

以上が、文教厚生常任委員会に付託された案件についての報告です。



大阿蘇環境センター未来館